



平成 21 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 R I S E
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兵 頭 利 広
 (J A S D A Q : コード番号 8836)
 問 合 せ 先 管 理 本 部 総 務 部 長 杉 山 顕 士
 (T E L : 0 3 - 5 5 7 5 - 6 5 9 1)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期決算において、下記のとおり特別損失を計上することとなりました。あわせて、平成 21 年 2 月 6 日に発表いたしました平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想(連結・個別)を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社は、昨今の経済情勢の後退と不動産市況の低迷および当社業績への影響等を踏まえて慎重に資産評価等の見直しを行った結果、平成 21 年 3 月期において新たに次の内容の特別損失(合計 621 百万円)を計上いたします。

- (1) 不動産市場の変動に伴い、収益性の低下が認識された賃貸用不動産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額したことによる減損損失 361 百万円。
- (2) 開発型不動産プロジェクトに対する共同事業出資について、進捗遅延等により予想される将来損失に備えるための営業出資金評価損 165 百万円。
- (3) 過去に販売した戸建分譲住宅について、今後発生が見込まれる補修費用の見積額に係る引当金の差額補充として補償損失引当金繰入額 59 百万円。
- (4) 期末において保有する、その他有価証券について時価が取得原価に比べて 50%以上下落したことによる投資有価証券評価損 21 百万円。
- (5) 物件取得契約解除手続が完了したことに伴う契約解除損の追加計上額 15 百万円

2. 平成 21 年 3 月期通期の業績予想数値の修正

(1) 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	6,100	△2,900	△3,230	△3,510
今回修正予想 (B)	6,250	△3,215	△3,515	△4,399
修正額 (B - A)	150	△315	△285	△889
修 正 率	2.4%	—	—	—
(ご参考) 平成 20 年 3 月期通期実績	15,413	△3,217	△4,182	△5,303

(2) 個別

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	6,100	△2,900	△3,230	△3,510
今回修正予想 (B)	6,250	△3,213	△3,512	△4,396
修正額 (B - A)	150	△313	△282	△886
修 正 率	2.4%	—	—	—
(ご参考) 平成 20 年 3 月期通期実績	15,451	△3,076	△3,965	△5,846

3. 業績予想の修正理由

(1) 連結業績予想の修正

売上高につきましては、ほぼ予定どおり推移いたしました。

利益面のうち営業損失および経常損失が増加したことにつきましては、第3四半期までに不動産市況の悪化に伴い販売用不動産に係る、たな卸資産の簿価切下げ額 2,626 百万円が生じておりましたが、市況の更なる悪化に伴い当期末において新たに、たな卸資産の簿価切下げ額 308 百万を売上原価に計上したことが主な要因です。

当期純損失が増加したことにつきましては、上記のたな卸資産の簿価切下げ 308 百万円および「1. 特別損失の内容」に記載の特別損失 621 百万円を計上したことが主な要因です。

以上により、平成 21 年 3 月期通期の業績予想を、売上高 6,250 百万円、営業損失 3,215 百万円、経常損失 3,515 百万円、当期純損失 4,399 百万円に修正いたします。

販売用不動産

(単位：百万円)

	簿価切下げ前	簿価切下げ後	差 額
簿価切下げ対象分	1,502	1,193	308
簿価切下げ対象外	916	916	—
合 計	2,418	2,110	308

平成 21 年 3 月末現在

(2) 個別業績予想の修正

個別業績予想につきましても、上記と同様の理由により修正いたします。

以 上